

租税教育実践レポート

税金の種類と役割から財政の課題を考える

登米市立石越中学校教諭 3学年 油井 芳人

実施年月日：令和6年1月26日 32名

1 実践計画・指導のねらい

小学校の社会科の学習でも、税金について、公共施設に税金が使われていることや地方自治体の税収の内訳などを扱っている。本単元では、税の種類や財政の課題や政策、社会保障などの仕組みや諸問題について触れるだけでなく、それらに対して根拠を明確にした上で、自分の言葉で説明できる力を付けさせたい。日頃の授業では、ペアやグループでの活動を取り入れているが、その際に積極的に意見交換を行っている姿が見られる。本単元でも継続させ、自分の考えだけでなく、他者の考えも参考にしながら多面的・多角的に考察し、学習活動が深まるよう活動させたい。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問（○）、こどもたちの反応（●）、使用教材等（□）
1	1 私たちの生活と財政 税金の種類をとらえる 財政の仕組み 税金の種類 税金の公平性	○ 世界各国の直接税と間接税の割合を見て、分かることは何だろうか。 ● ヨーロッパ州は高福祉・高負担であり、アメリカは低福祉・低負担である。日本はヨーロッパとアメリカの中間に位置する。 □ 教科書「新しい公民」、iPad、テレビ、AppleTV、資料「私たちの暮らしと税」
2	2 財政の役割と課題 財政の役割と課題を考える 社会資本と公共サービス 財政政策と公共投資 日本の財政の推移と公債	○ 社会資本(インフラ)の整備や公共サービスがなければ、どうなってしまうだろうか。 ● 学校がボロボロで、電気が付かない。生活していくのが大変。民間企業が国外に行ってしまう。道路が舗装されない。 □ 教科書「新しい公民」、iPad、テレビ、AppleTV、資料「暮らしと県税」、資料「登米市の予算とまちづくり」
3	3 社会保障の仕組み 日本の社会保障制度の仕組みを理解する 社会保障の4つの柱 社会保険 公的扶助 社会福祉 公衆衛生	○ (G5の医療保障制度の給付内容と自己負担の概要を見せ) 日本の社会保障制度を諸外国と比較したときに、分かることは何だろうか。 ● ヨーロッパの保障が手厚いが、日本も医療費が安いことがわかった。アメリカの医療費が高額である。 □ 教科書「新しい公民」、iPad、テレビ、AppleTV
4	4 少子高齢化と財政 少子高齢化による財政への影響を理解する 介護保険制度 福祉社会の実現に向けて	○ (社会保障給付費の推移を見せ)なぜ社会保障給付費が年々増加しているのだろうか。 ● 社会保障を受ける人達が増えているから。少子高齢化が進んでいるから。財政政策として、国が多く集めているから。 □ 教科書「新しい公民」、iPad、テレビ、AppleTV

【指導のポイント】<1時間目>

夏休みの課題であった税の作文で、市内で優秀賞をとった生徒の作文を紹介する。さらに教科書の図から、所得税の累進課税の仕組みを説明し、この税制の公平性について、メリットとデメリットをグループで話し合う。

【指導のポイント】<2時間目>

教科書の「日本の財政の推移」から税収と歳出、国債発行額についての変化を読み取らせ、公債の発行の在り方について自分の考えをまとめさせる。さらに、宮城県と登米市の財政についても現状を紹介する。

【指導のポイント】<3時間目>

日本の社会保障の4つの柱を説明し、それぞれがどのような人達を対象とし、どのような場面で機能するのか考えさせる。

【指導のポイント】<4時間目>

教科書にある、「社会保障給付費の推移」と「日本の人口と人口構成の変化」から読み取れることをペアで考える。さらに、福祉社会の実現に向けて、諸外国を参考にしながら、日本は今後どのように進めていくことが良いのか、グループで考える。

3 実践の成果（◎）と課題（◆）

- ◎ 日頃からニュースを見ていて税への関心がある生徒や税の作文の提出にあたって、税金に関する知識がある生徒が多かったことから、意欲的に学習に取り組む姿が多く見られた。ペアやグループワークでも積極的に意見交換を行っていた。
- ◆ 新しい言葉の説明や複雑なグラフや図の読み取りを行ったが、時間がかかってしまった。単元計画を見直し、時数を増やして授業を行うことで生徒の活動時間を十分に確保できると感じた。
- ◆ 税や財政について、こちらから資料を提示して授業を進めたが、自分たちで課題を見つけ、個人やグループで調べたりまとめたりする方法もあったのではないかと感じた。生徒の主体性をもう少し生かせればよかった。